

バスの乗車マナーの啓発について

1 テーマ 「車内安全と乗車マナー」

2 目的

- (1) バスの車内安全の確保
- (2) ゆずりあいによる快適性の向上

3 背景

- (1) バスの乗車マナーは、人により受け止め方が異なり、受け止め方の違いが、トラブルや車内事故の原因にもなりうる
 - ① 「優先席」を「専用席」と思い込み、空席であっても座らない・座らせない
→立席乗車は事故の原因となるため、運転手から見ると不安要素となる
 - ② 他の乗客に気を遣い「早く降りる」ために、バス停での停車前に席を立つ
→停車時のブレーキで転倒しけがをする可能性がある
 - ③ 両替などのために、走行中の車内を立ち歩く方を見かける
- (2) 車内事故により、運転手が免許停止などの行政処分を受ける可能性がある。運転手不足の中、バスの運行に支障をきたす原因になりかねない
- (3) バス事業者も車内放送などでマナー向上の呼びかけはしているが、呼びかけられた方の思い描くマナーと違いがある場合には苦情のもととなる。

4 取り組み方針

- (1) 本年度は、下記のマナーについて周知を図る
 - ① 優先席が空席の際の利用方法の提示
 - ・車内事故防止のため、空席があれば座るよう呼びかける
 - ・優先席が必要な人が乗車したら、速やかに席を譲る
 - ② バス停到着時には、完全に停車するまで席を立たない
 - ・転倒の防止

5 取り組み方法

- (1) バスマつりにおいて、上記の取り組み方針について意識調査を行う。
 - ① 優先席に座ることについての考え方
- (2) あわせて、取り組み方針について背景を含めて周知を図る。
- (3) 意識調査や説明時の反応を踏まえ、周知方法・内容を検討する。